作成日　令和８年３月２３日
ひらい園放課後等デイサービス

支援プログラム

法人理念

・みんなのためになる福祉に努めます。
・明るい笑顔の人づくりを進めます。
・未来に希望を持ち、信頼と安心を築きます。

職員行動原則（5 原則）

１）　笑顔とあたたかい心を大切にします。
２）　伝え合い、協力し合うチームであり続けます。
３）　一人ひとりの個性と尊厳を尊重します。
４）　地域と共に歩み、共に育ちます。
５）　安心・安全を守り、専門性を高めます。

方針

保育事業

・子どもの人権と個性を尊重し、豊かな愛情をもって主体性を育み、心身ともに健やかな成長と生きる力の基礎を培います。
・家庭と園が手を取り合い、地域に開いて社会的責任を果たすことで、子育てを支えます。

障害福祉事業

・ひらい園は、笑顔と優しさがあふれるあたたかい場所として、一人ひとりの個性と尊厳を大切にし、互いに支え合いながら共に成長していきます。
・地域と手を取り合い、安心と信頼に満ちた福祉を築き、すべての人が自分らしく、いきいきと輝ける社会を目指します。

営業時間

平日　　下校後～１９：００
長期休暇期間　　８：３０～１８：３０

送迎

平日　　学校の迎え、自宅への送り
長期休暇期間　　自宅への送り

支援内容

・安心して過ごせる環境で、日常生活・遊び・活動等を通し、生活スキルや人間性の成長ができるよう、一人ひとりに寄り添い支援していきます。

・学校や家庭と違う時間・空間・人との関わりの中で様々な体験を提供し、興味関心を広げられるよう支援していきます。
・放課後等デイサービスガイドラインの内容を踏まえ、支援に取り組んでいきます。
本人支援（5 領域に関連したもの）
・生活（手洗い、着替え、トイレ、食事等）や遊び（自由時間）、活動等を 5 領域の視点で総合的に支援します。
・個別の支援、個々のニーズに配慮した集団での支援をしていきます。
〇5 領域の主な支援

健康・生活	健康状態の確認、基本的生活スキルの習慣化や獲得の支援をする。本人が行動や感情を調整できるよう支援する。
運動・感覚	遊びや活動を通し、姿勢や運動、動作の基本的技能の向上と保有する感覚の活用ができるよう支援する。
認知・行動	遊びや活動の中で本人が適切に情報を処理できるよう支援する。視覚、聴覚、触覚等を活用して得た情報を適切に取得できるよう支援する。得た情報を把握、理解し、的確な判断や行動につながるよう支援する。認知や行動の手掛かりになるもの数、重さ、形、色、音等の変化する様子や空間や時間の概念が形成されるよう支援する。行動障害の予防や適切行動への対応を支援する。
言語・コミュニケーション	コミュニケーションの能力の向上と手段の選択と活用ができるよう支援する。
人間関係・社会性	本人が環境に対する安心感・信頼感や人に対する信頼感、自分に対する信頼感が育むよう支援する。自身の感情が不安定になった際、安心感や自分の感情に折り合いをつけられるよう「安全の基地」の役割が果たせるよう支援する。遊びや活動を通し、社会性の発達や人間関係の構築を支援する。共に活動することを通じて、相互理解や存在を認めながら仲間づくりにつながるよう支援する。

【平日】
（健康チェック→手洗い・うがい→おやつ→活動→自由時間）
〇主な活動

おやつ作り	自分が食べるものを作り達成感を得る。「健康・生活」「認知・行動」等
公園で過ごす	外での活動を通し、四季を感じる。地域のこどもと触れ合う機会にする。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等
リラクゼーション	安心と癒しを感じ、リラックスする。休み方を知る。「健康・生

	活」「人間関係・社会性」等
ダンス	曲や映像に合わせ体を動かし、リズム感を養う。「運動・感覚」「認知・行動」等
月々の創作活動	その月のものを制作し、その月の雰囲気を感じる。「認知・行動」「運動・感覚」等
防災・感染予防	サーキットやクイズ形式で防災や感染症予防について知る。「認知・行動」「人間関係・社会性」等

【長期休暇期間】

（健康チェック→朝の会、ラジオ体操→活動→昼食→活動→おやつ）

・来園後、昼食後、おやつ後に自由時間があります。

○主な活動

調理（昼食・おやつ）	自分で作ることで工程を知る。調理道具を使う体験をする。「健康・生活」「認知・行動」等
創作活動	テーマに沿って、自分のイメージを形にする。「認知・行動」等
カラオケ（園内）	雰囲気を楽しむ、歌うことで自発的な発声を促す。「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」等
外出活動	電車の乗り方や公共施設での過ごし方を体験する。実際にお店で購入し、お金を使う体験をする。「人間関係・社会性」等
防災・感染症予防	地域の避難場所までウォーキングし、ルートを知る。パネルシアターやクイズを行い、防災や感染症予防について知る。「認知・行動「人間関係・社会性」等
ｅスポーツ	大会形式にし、勝敗を意識したり、他者の応援をする。協調性を養う。画面を見ながらコントローラーを使い、目と体の協同性を養う。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等

【生活】

・生活していく上で必要なことを自立できるよう支援していきます。「健康・生活」「認知・行動」等

片付け	自分の名前がある場所に荷物を置く、上着をハンガーにかける等、自分の物を意識しながら行う。自分で出したものを片付ける。
手洗い	来園後、食事前に行い、感染予防にもつながるよう習慣になる。
トイレ	段階を踏みながら自立できるようになる。
着替え	衣類の準備から片付けまで自立できるようになる。暑さや寒さを衣類で調整できる、汗をかいた時や汚れた時に着替えられる

	ようになる。
食事	席に着く、箸やスプーンを使い食べる、自分のものを食べる、食後の片付けまで自立できるようになる。
歯磨き	食後、意識して行う。

【自由時間】

・各自が選択できる環境を整え、個々のニーズに対応できるよう配慮します。

・本人の変化や家族、学校等関係者からの情報によって、提供できるものを変更していきます。

〇主な過ごし方

テレビ、動画鑑賞	見たいものの選択、他者と見ることや順番を意識する。「認知・行動」「人間関係・社会性」等
ｅスポーツ	障害の程度に左右されず交流する。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等
ウォーキングサッカー	ルールや加減を意識し、他者と協力して行う。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等
お手玉野球	ルールや加減を意識し、他者と協力して行う。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等
ボードゲーム	勝敗や順番を意識し、楽しさを体験する。「認知・行動」「人間関係・社会性」等
ごっこ遊び	場面をイメージし、ルールやマナーを体験する。「人間関係・社会性」等
創作活動	自分のイメージを形にする。「認知・行動」「運動・感覚」等
バランスボール	気持ちや体幹を安定する。「運動・感覚」「人間関係・社会性」等
本を見る、読む	絵と文字や文字と実物をつなげる。「認知・行動」「言語・コミュニケーション」等
写真を見る	思い出を振り返る。他者と見ることで思い出を話す。「認知・行動」「人間関係・社会性」等
音楽を聞く、歌う	好きな曲を聞く、歌うことで気分転換になる。歌うことで言葉を音として発する。「認知・行動」「言語・コミュニケーション」等
休憩	行事の練習や授業で疲れを感じた時、自分から休める。「人間関係・社会性」等

家族支援

・家族の子育てに関する困りごと等に対する相談援助・情報提供を行います。

・家族の休息や就労等の預かりニーズに対する支援を行います。

移行支援

・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行準備支援を行います。

・併行利用先や学校等とこどもの状態や支援内容の情報共有、連携を行います。

地域支援

・学校、相談支援事業所や障がい児通園事業所等との連携を行います。

・こどもが通う医療機関等との情報連携を行います。

職員のスキル向上

・こどもの特性や支援について理解、気づきがよりできるよう事業所内でケース会や事例研修等を行います。

・職員それぞれのスキルアップを図るため、事業所内の人事構築研修会や外部研修に参加します。

・職員それぞれの危機管理の意識を高めるため、避難訓練の参加や防災に関する研修を行います。

・感染症や保健衛生の共通理解を深め、マニュアルに沿った動きができるよう研修を行います。

・職員それぞれの虐待防止に対する意識を高めるため、各自でのチェックリストの実施や研修を行います。

行事

・主に長期休暇期間中の活動として取り組んでいる。

春季	花見、進級歓迎会、かかし祭り（地域の祭り）出展するかかし作り
夏季	夏祭り、プール、スポーツフェスティバル、夏野菜の収穫
冬季	お楽しみ会、大掃除、新年に向けての準備、正月遊び
ひらい園全体	バザール